



第62期(平成22年3月期) 決算説明会資料

2010年5月14日

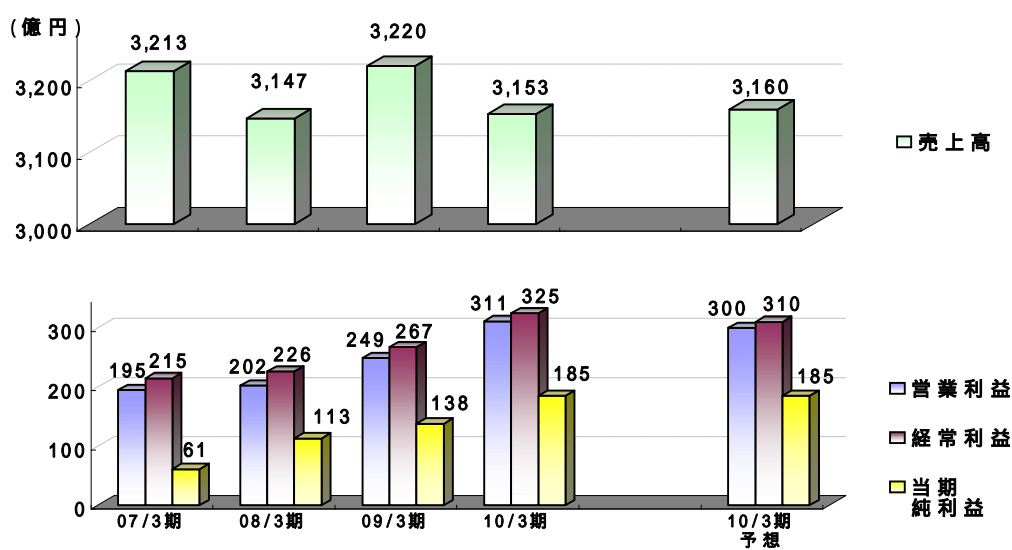


東洋水産株式会社

1



通期連結業績



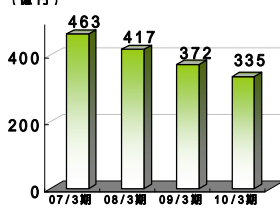
2



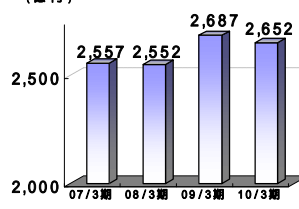
通期連結業績・・・セグメント

売上高

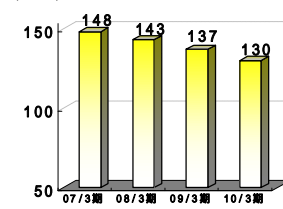
魚介類



加工食品

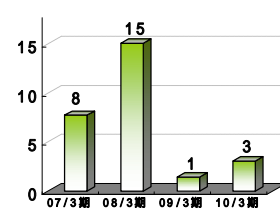


冷蔵庫

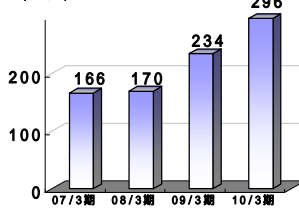


営業利益

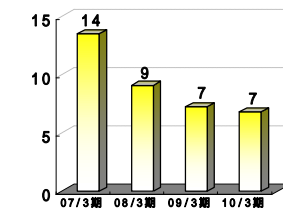
魚介類



加工食品



冷蔵庫



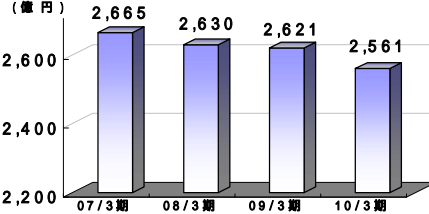
3



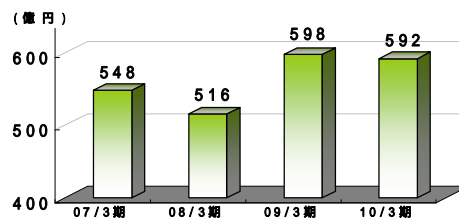
通期連結業績・・・セグメント

売上高

日本

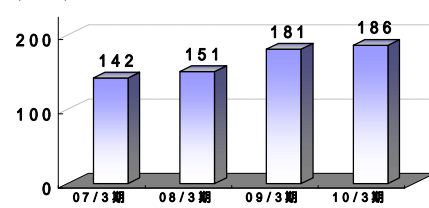


北米

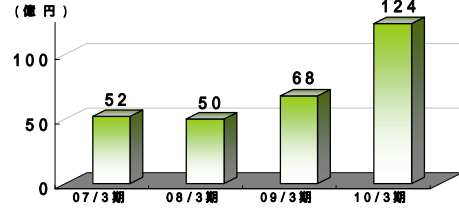


営業利益

日本



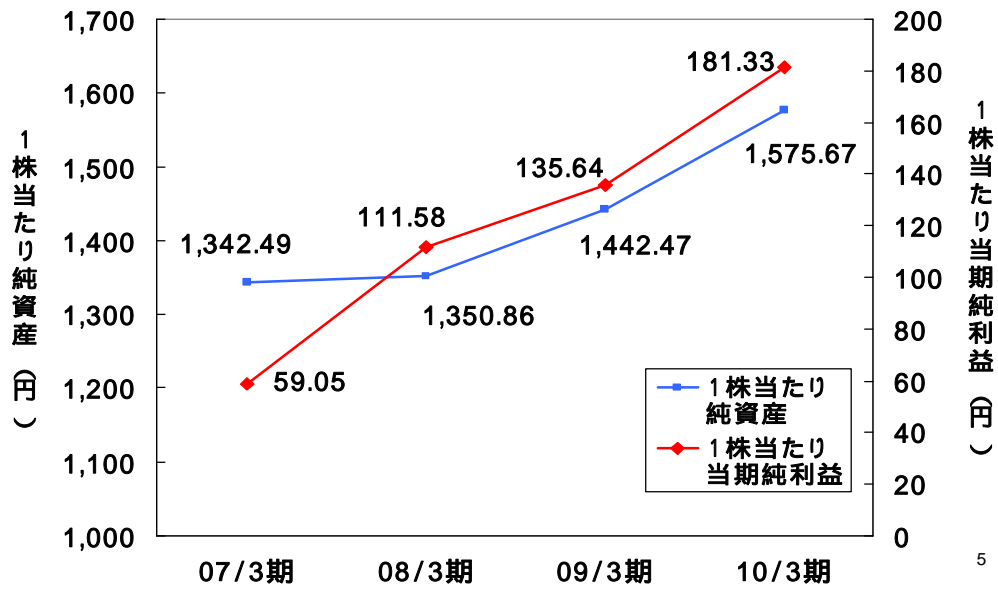
北米



4



通期連結業績・・・経営指標の推移



5



国内事業について

6



前期国内事業営業利益増減益要因

国内加工食品

< 増益要因 >	原材料費率減少	+ 24 億円
< 減益要因 >	製造経費率増加	1 億円
	売上高減少	1 億円
	販管費率増加	20 億円
合 計		+ 2 億円

水 産

・低価格志向による魚介類離れ + 2 億円

冷蔵庫

・高収益貨物の取り込み 前期並

7



国内即席麺

・基幹ブランド商品 新製品 リニューアル キャンペーン情報

「赤いきつね」「緑のたぬき」リニューアル
 新製法により、より滑らかで喉ごしのよい麺。
 魚介エキスを隠し味にしたコクのあるつゆ。
 和風麺の商品特徴をアピールしたCMを放映。

「麺づくりシリーズ」リニューアル

< Smiles For All. ~すべては笑顔のために~ >
 をコンセプトとしたキャンペーンの実施

・新ブランド「四季物語」の発売

日本の四季をテーマとした新ブランド「四季物語」をうどん、
 ラーメン、焼きそばで発売。
 デザインに統一感を持たせ、お店の棚に季節感を演出。



8



生 麵

- ・内食化傾向の一巡
- ・市場全体の低価格化
- ・新工場稼動による
減価償却費増加



9



当期の見通し

- < 即席麵 >
- ・ 基幹商品の拡売
 - ・ 「四季物語」の育成



- < 生麵 >
- ・ 商品ラインナップ充実
 - ・ 消費者キャンペーン実施
 - ・ 商品ブランド活性化



10



当期の見通し

< 費用面 >

- 原材料相場の不透明感
- 販売環境の厳しさによる
販売促進費増加傾向
- 関東工場稼働及びライン増設
前倒しによる減価償却費増加



会社計画の達成に向け努力



11

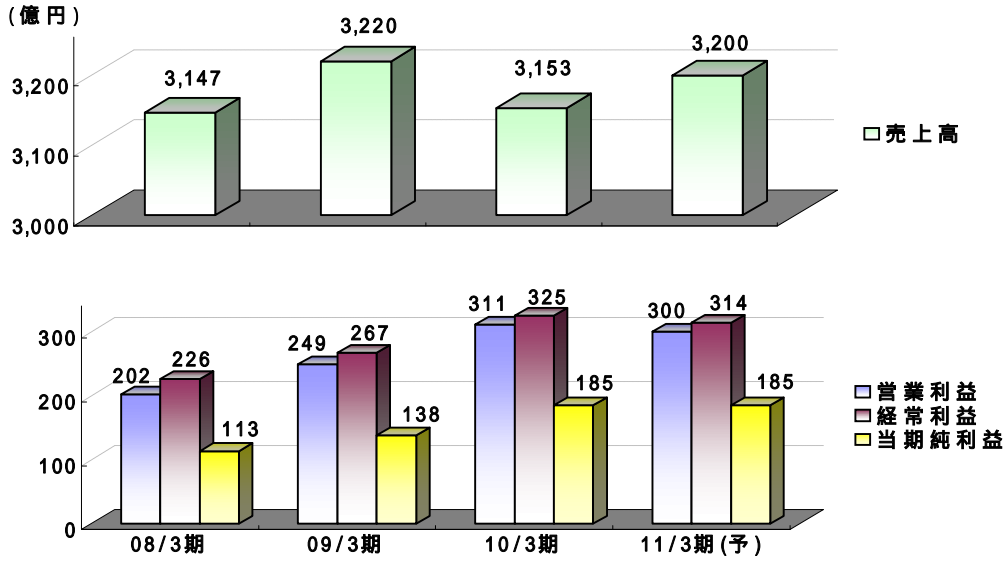


当期予想について

12



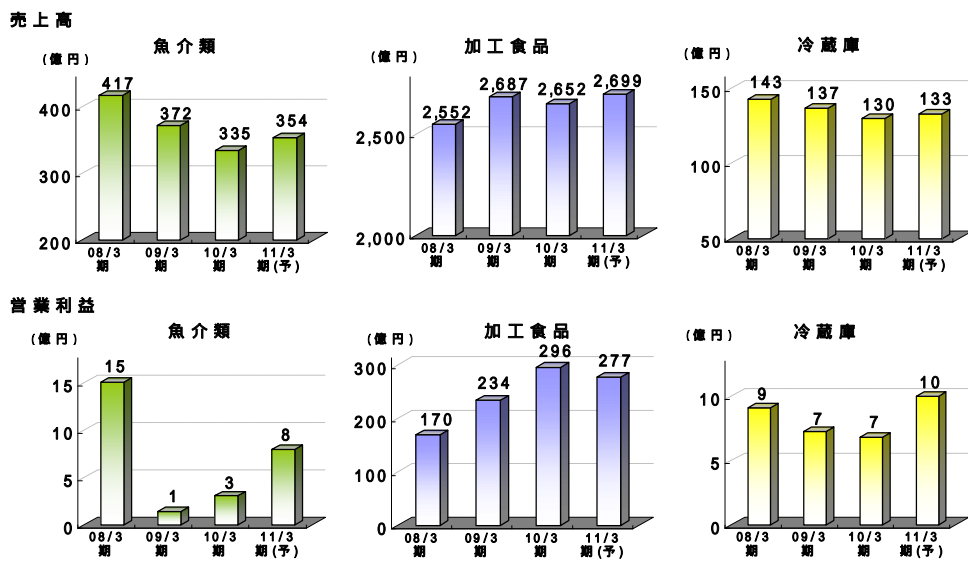
当期連結通期予想



13



当期連結通期予想・・・セグメント

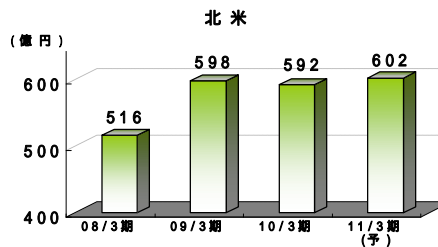
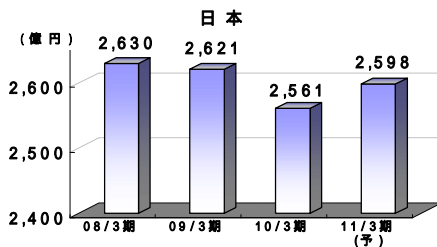


14

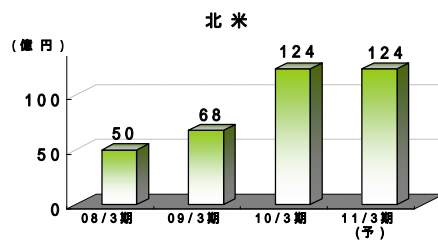
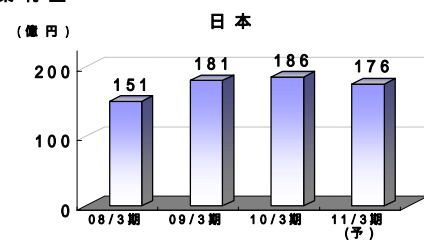


当期連結通期予想・・・セグメント

売上高



営業利益



15



当期連結通期予想・・・国内事業増減益要因

国内加工食品

< 増益要因 >	原材料費率減少	+ 7 億円
	売上高増加	+ 5 億円
< 減益要因 >	製造経費率増加	11 億円
	販管費率増加	19 億円
合 計		18 億円

水 産

・鮭鱒等の需要回復、 量販店、コンビニ向け商品開発	+ 5 億円
------------------------------	--------

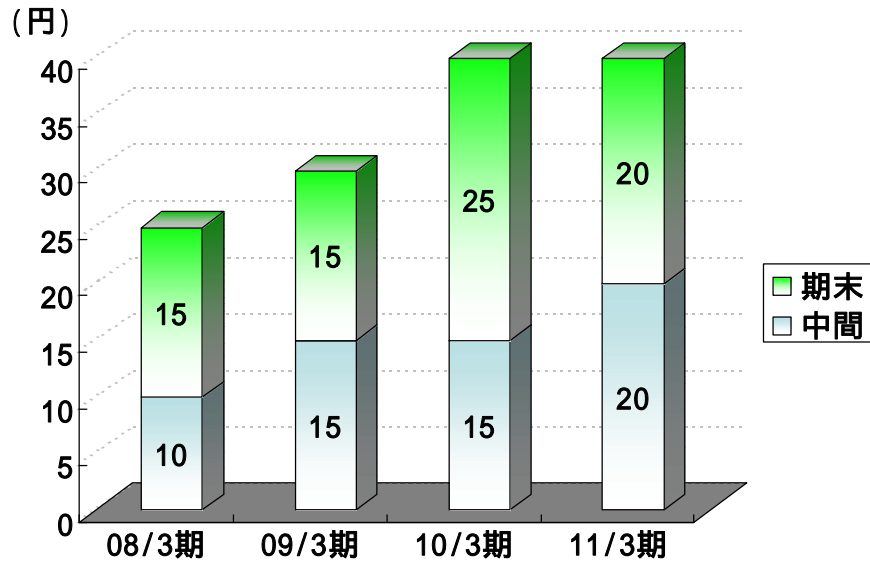
冷蔵庫

・新冷蔵庫稼働の寄与	+ 3 億円
------------	--------

16



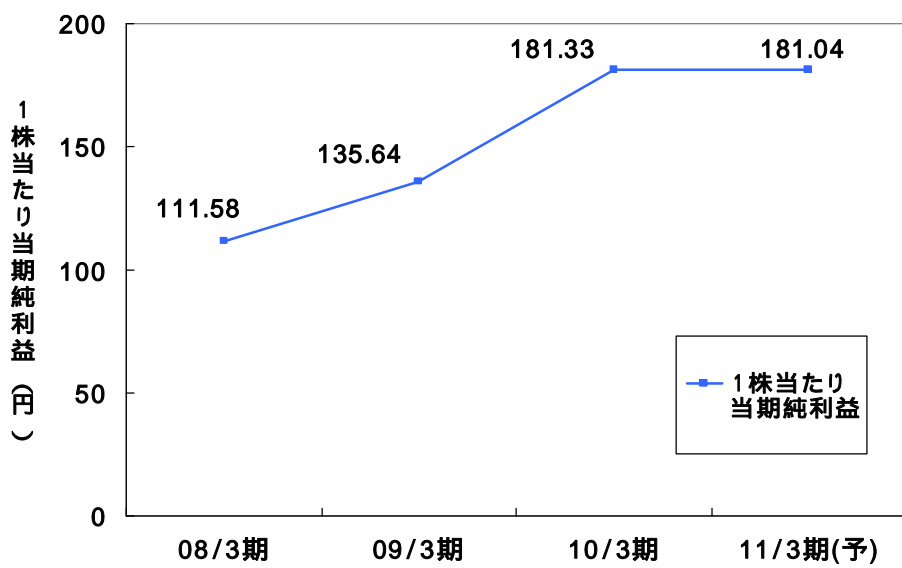
当期連結通期予想・・・配当金



17



当期連結通期予想・・・経営指標の推移



18

米国即席麺事業 業績概要

(単位:千ドル)

	当期 4/01/09 ~ 3/31/10		昨年比	前期 4/01/08 ~ 3/31/09	
	金額	構成比		金額	構成比
売上高 (N E T)	636,489	100.0%	106.5%	597,761	100.0%
営業利益	130,341	20.5%	207.1%	62,936	10.5%
税引前利益	135,422	21.3%	190.6%	71,034	11.9%
当期純利益	87,490	13.7%	190.9%	45,834	7.7%

19



この説明会資料に掲載されている、東洋水産株式会社の計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に対する見通しであり、現時点で入手できる情報から得られた東洋水産株式会社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績については様々な要因により、見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。



東洋水産株式会社

20